

廃棄物処理施設の入札・契約適正化に係る検討の目的及び進め方について（案）

．趣 旨

し尿処理施設、ごみ処理施設などの市町村が事業主体として入札・契約手続きを行っている廃棄物処理施設分野では、談合疑惑や契約価格が高いのではないかとの指摘がある。

このような問題によって、廃棄物行政に対する国民の不信を招くことのないようにすることが必要である。また、循環型社会づくりの基盤となる廃棄物リサイクル施設を整備する公共事業の透明性・競争性を高め、事業に対する国民の信認性を確保することが必要である。

このため、廃棄物処理施設分野における特有の事情（市町村にとっては20年程度に1回の巨額な公共事業であることなど）を分析し、より適正な価格での契約に向けた方策を中心に検討し、検討の結果を市町村における廃棄物処理施設の入札・契約手続きの透明性、競争性の向上に役立てる。

．検討項目・成果

1．入札談合や高値受注を招きやすい廃棄物処理施設特有の事情の抽出と分析

(1) 廃棄物処理施設特有の事情の抽出

特殊技術を要するため参入可能な企業が限られること、入札参加企業からの見積書に基づき予定価格が設定されること、市町村にとって20年程度に一回の大規模な事業であること等の廃棄物処理施設に係る事業に特有の事情を抽出する。

(2) 特殊事情と契約実態との関係分析

(1)により抽出した特殊事情の項目と入札・契約実態との関係进行分析し、どのような構造が生じているのか、問題を生じている構造を解消するポイントの明確化を図る。

2．廃棄物処理施設特有の事情を踏まえた具体的方策の検討

(1) 廃棄物処理施設分野特有の事情を解消する具体的な方策の検討

1．の整理を踏まえ、高値受注を防止する具体的な方策、市町村側の取組を支援するための方策（情報提供等）などを検討する。

(2) 廃棄物処理施設分野における入札・契約手続きで取り入れるべき事項の検討

総合評価落札方式の円滑な導入の方策、現在廃棄物処理施設分野で広く行われている指名競争入札の課題の検討、その他のコスト縮減に有効とされる方策や競争性を高めるために有効な方策を検討する。

3. 留意事項

本検討では、廃棄物処理施設分野に特有な事情に対応した具体的な対策を検討するものであるが、公共事業の入札・契約手続きの目指す方向・枠組み（公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針、地方自治法に基づく地方公共団体の入札・契約手続き、公共工事の品質確保の促進に関する法律等）と整合した検討を行う。

4. とりまとめ

市町村向け廃棄物処理施設分野の入札・契約手続きの適正化のための手引き
（望ましい方向性を提示するガイド）の策定
環境省の果たすべき役割についての提言

・検討の進め方

10月から検討を開始し、年内に中間的なとりまとめに相当するようなものとして、検討会における議論の論点を整理し及び取組の方向性をとりまとめる。

その上で、年度内に上記2.の廃棄物処理施設向けの方策を市町村向けに「廃棄物処理施設入札・契約手続きの適正化のための手引き（仮称）」としてとりまとめる。

(別紙)

廃棄物処理施設の入札・契約適正化検討会 スケジュール(案)

【全体の進め方】

- 17年10月 第1回：特有益事情の分析及び検討項目の抽出
- 10～11月 第2回：特有益事情の分析及び具体的方策の検討
- 11～12月 第3回：具体的方策の検討
- 12月 第4回：中間とりまとめ(具体的取組の方向性を整理)
- (中間とりまとめをもとに、事務局で手引き素案を策定)
- 18年 2月 第5回：手引き案についての検討
- 3月 第6回：手引き案とりまとめ